

# 新しい採用のカタチは

## 盛岡市採用ブランディングキャンプ 報告会で10社発表



盛岡市採用ブランディングキャンプ2016報告会「『新しい採用のカタチ』を考える」

出す採用手法が紹介された。

発表に先立ち、講師の菊池龍之コヨーテ社長がワークの内容を説明した。地方・中小企業が抱える採用課題「募集」に焦点を当て、どう集めるかより「誰に会いたいか」を重視した採用プランの立案作業を行ったと解説。

発表では各企業が考える採用したい理想の人物像と、その人材を確保するための手法が紹介された。

発表者は盛岡市の木津屋本店卸・小売業）、岩手ホテル&リゾート（サービスマン）、岩手ファーム（製造業）、川上塗装工業（建設業）、菱和建設（同）、仙北造園（同）、合同会社スプリ

ングブリーズ（医療、福祉）、イーアールアイ（情報通信業）、ネクスト（同）、矢巾町のいわて愛隣会（同）の10社。川上塗装工業は、学生の動きに合わせた採用スケジュールを立てた上で「枠にはまらない説明会」を考案。も

のづくりやアウトドア好きの県内学生を想定し、仕事場の一つ「屋根」に上る説明会、親睦を深めるバーベキュー説明会を企画した。その中で装飾塗装ができる県内唯一の企業であることをアピールするとした。

菱和建設は、誰かに役立ちたいという社会貢献心が強い学生を設定。「ヒーロー説明会」と題して自社施工物件

当てツアー、一日就業体験ショートインターンシップを企画した。暮らしの安心安全を守るといふ事業内容や、食糧難から人々を救うために農業土木を始めた創業の経緯をもって学生に訴求するとした。

聴講していた同市着町の平野佳則平金商店社長は「ターゲットとする学生の思考まで明確化することや、学生側の視点に立つて採用を進める大切さを学んだ」と感想を話した。

同市本宮の櫻井大介アト不動産社長は「企業側が伝えたいことよりも、学生が求めている情報を発信する必要があると感じた」と話していた。

盛岡市採用ブランディングキャンプ2016報告会「『新しい採用のカタチ』を考える」は13日、盛岡市の盛岡大通会館リリオで開か

れた。昨年9月から県内に本社を置く10社で、自社の採用戦略を練るワークを4回実施。その成果発表と来年度の採用活動の本格

化に向けて、県内事業者や学校、行政関係者約50人の前でプレゼンテーションを行った。学生視点を重視しながら、自社の魅力を打ち